

低コストで安定生産を実現する！ 増産時の混乱対策手法

日時 2018年9月7日(金) 10:00~17:00
(9:30受付開始、休憩12:30~13:30)

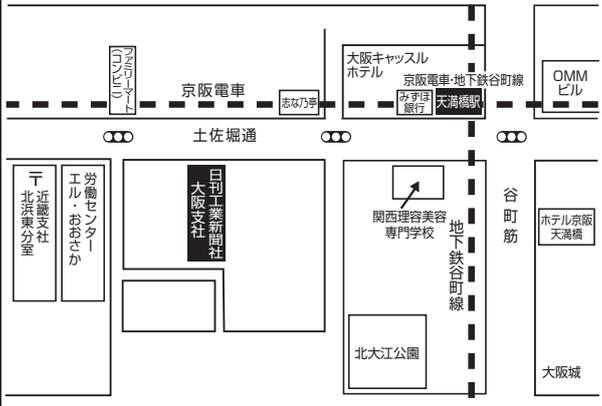
主催  日刊工業新聞社

会場 日刊工業新聞社 大阪支社 セミナールーム
(大阪市中央区北浜東 2-16)

受講料 43,200円 (資料含む、消費税込)
*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円

大阪会場(日刊工業新聞社 大阪支社10階)
大阪市中央区北浜東2-16 TEL: 06(6946)3382

*天満橋駅(京阪電車、地下鉄谷町線)下車徒歩3分
■新大阪駅から地下鉄御堂筋線(新大阪→淀屋橋)北側出口 乗換、
京阪電車(淀屋橋→天満橋)西改札口
■大阪駅から地下鉄谷町線(東梅田→天満橋)北側2番出口



日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場

〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご利用ください。
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込み
できます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び
請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。
なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間
前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。
振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
(株)日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書		9/7 増産時対策		お申し込みは FAX 03-5644-7215	
■受講料: 43,200円 (資料含む、消費税込) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円		※振込手数料は貴社にてご負担ください。			
会社名	フリガナ	業種			
氏名	フリガナ	TEL			
	部署・役職	FAX			
所在地	〒	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は チェックをしてください。 <input type="checkbox"/>			
	E-mail:				

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.182061

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

景気回復により、増産対応に迫られている企業がありますが、実際にスムーズに増産対応できている企業はとても少ないのが実態です。多くの企業では、増産に起因する各種トラブルに直面し、予定通りの生産ができなくなった結果、「生産量は増えたが利益は出ていない」状況になっているのです。

本セミナーでは、増産時に発生する各種トラブルの原因とその対応の仕方、及び具体的な対策案の策定手順と作成上のコツについて事例を交えて解説するとともに、今後トラブルを発生させないための一気通貫生産を前提にした新たな生産管理の仕組みづくりについて、講師が詳細に解説いたします。

講師

株式会社アステックコンサルティング
コンサルティング本部 シニアコンサルタント

播磨 知宣 氏

【略歴】

大手食品メーカーにおいて生産管理、製造現場の要職を歴任すると共に、生産革新プロジェクトの中心メンバーとして多大な成果を上げた。その後、(株)アステックコンサルティング入社。最先端の現場で培われた確かな知識と最新の手法を駆使し、製造部門の生産性向上、リードタイム短縮、在庫削減等を実現し、企業の収益向上に大きく貢献。状況を冷静に判断し、その緻密な理論に裏付けされた、熱心で行動力にあふれる指導は、確実に成果に結びつけるコンサルタントとして評価が高い。



【コンサルティングテーマ】

・全社最適化収益改善
・生産管理の仕組み構築
・製造部門生産性向上
・製造原価低減
・リードタイム短縮、在庫削減
・品質改善支援

【指導企業及び コンサルティング内容】

・機械刃物メーカー 仕組み改善による製造原価低減、労働生産性向上
・二輪車部品メーカー リードタイム短縮、仕掛・製品在庫削減
・合成樹脂製品メーカー 生産管理の仕組み構築、生産性向上
・通信機器メーカー 現場改善、品質改善によるクレーム低減と生産性向上
・電子部品メーカー 現場改善、仕組み改善による総収益改善
・加工食品メーカー 歩留り改善、生産計画改善、物流改善

等

プログラム

1. 増産時に工場が混乱する理由

悪循環のサイクル
潜在ロスの顕在化
ネック工程改善と情報系改善
過去の増産とは状況が違う

2. 本来能力が制限されている

生産能力が制限される理由
減産時の仕組みからの脱却遅れ
間接部門の人員不足の影響
現場に依存した生産体質

3. リードタイムと混乱の因果関係

リードタイムの長期化が混乱に拍車をかける
基準日程と生産計画線
生産計画線の混乱
リードタイムも生産計画でコントロールする

4. 現状を正しくとらえる

生産能力の正しい把握
生産のバラツキの把握
指標による見える化
各種管理指標の例

5. 増産の決め手は一気通貫生産

増産対策の基本パターン
一気通貫生産方式の特徴
停滞排除と情報制御
一気通貫生産のメリット

6. 生産計画系改善による安定化

生産計画の種類と役割
長期生産計画の必要性
負荷調整機能の体系作り
権威のある生産計画

7. 生産部門改善の進め方

生産性向上と能力向上は違う
日当り出来高を増加させる
増産時の段取り改善の進め方
生産能力のバランスの向上

8. 調達改善の進め方

現在の調達環境を知る
調達リードタイムに応じた発注
在庫管理を確実に
長納期品・特殊納期品対策

9. 人員管理と戦力化

計画と指示で現場を動かしていく
派遣、パートの戦力化
作業と判断の分離
多能化は必須である

10. 事例紹介

大型プラント製造メーカーの生産能力倍増および生産性25%向上事例をご紹介します。